

ラバン筆記具保証書

ラバンの筆記具は、素材不良や製造不良から発生する、機能不良に対して100パーセント保証されています。 お買い求めになられてから1年間の間に発生した、それら機能不良に対しては、無料で、部品の交換または本体の修理、交換をいたします。 ラバンの代理店または取扱店に、お持ちください。

しかし、事故や不適当な取り扱いなど、ラバンの取り扱い指示に反した場合に生じた破損は、保証の範囲には入りません。 また、レフィルや芯、消しゴム、インクカートリッジなどの、ご使用による消耗も、保証の範囲外となります。

また、スターリングシルバー製品および銀メッキ製品は、絶対に化学薬品に接触させないでください。 また高湿度の場所に放置しないでください。 もし表面が変色し始めましたら、銀製品磨き専用の布で、ペンを磨いてください。

ラバン筆記具取り扱い仕様書

(1) 万年筆

カートリッジの取り付け方

万年筆のキャップをはずし、ペン先のついている前部分を、軸からはずしてください。ペン先を向こう側に向けた状態で、時計回りと逆方向に回転させるとはずれます。

空になったカートリッジが付いている場合は、まずそれをはずし、新しいカートリッジを差し込んでください。 カートリッジの先端が細くなっているほうを、しっかり差し込んでください。

注：カートリッジを取り付けた後、すぐに書けない場合は、軸を取り外し、カートリッジを、そっと絞るように押してください。 ペン先に、インクがにじんで見えたら、軸を戻してください。

◎ラバンの万年筆には、かならずラバンまたは、ヨーロッパ製インクカートリッジをご使用ください。

インクポンプを使用する場合

ポンプを、万年筆の前部分に、しっかり装着してください。

中央の金属部分を指でつかみながら、ポンプの頭を、時計回りと逆方向に、最後まで回してください。 次にペン先をインクに浸し、時計回りに頭を回転させ、インクをポンプの

中に、じゅうぶん吸い上げてください。

ペン先に付着した余分なインクは、拭き取ってください。（けば立った布は使用しないでください。 またペン先の裏側の、黒い、インク送り装置は、拭かないでください。）

注意

- ◆ 長い期間、万筆をご使用にならないまま放置せずに、試し書きでも結構ですから、なるべくひんぱんに書いて、ペン先にインクを流してください。
- ◆ 万年筆をきれいにする時は、冷たい水を使用してください。
- ◆ また、SC21を添加した、セルフクリーニングインクをご使用ください。
- ◆ 大切な筆記具を守るために、いつもレザーケースに入れて、お持ちください。

(2) ローラーボールペン

レフィルを交換する時は、ペンの前部分を回して、使い終わったレフィルを取りはずしてください。

次に、新しいレフィルを装着してください。

- ◆ ご使用にならない時は、ペン先のインクが乾燥するのを防ぐために、かならずキャップをしてください。
- ◆ 書いた時に文字がかすれるようになったら、新しいレフィルと交換してください。

◎ラバンのローラーボールペンには、かならずラバンまたは、ヨーロッパ製のレフィルをご使用ください。

(3) ボールペン

芯を交換する時は、キャップを、時計回りと逆方向に、キャップがはずれるまで回してください。

軸から使い終わった芯を取出し、芯の先のバネをはずしたら、そのバネを新しい芯の先端部分に、装着してください。そして新しい芯を、軸の中に差し込み、キャップを時計回りの方向に、元の位置までしっかり回転してください。

- ◆ ご使用にならない時は、かならず芯を引っ込めてください。

◎ラバンのボールペンには、かならずラバンまたは、パーカータイプの芯をご使用ください。

(4) シャープペンシル

芯を出す時は、キャップを、時計回りに、90度、数回ひねってください。 芯が、徐々に出て来ます。

ご使用後、芯を引っ込める時は、時計回りに、キャップを90度回し、そのままの位置を保ちながら、芯の先を軸に押し込んでください。

銀製シャープペンシルの芯の交換

1. ペンシルの先を、自分の方に向けた状態でペンシルを持ち、短くなった残りの芯が落ちるまで、キャップを時計回りに、回転してください。
2. キャップをはずし、芯を入れる金属性の筒を露出してください。
3. 筒から消しゴムをはずし、中から芯を1本取り出してください。
4. 消しゴムをもどし、キャップをもとに戻してください。
5. ペンシルの先を、向こう側に向けた状態でペンシルを持ち、キャップを時計回りに、止まるまで回してください。
6. 新しい芯を、ペンシルの先から、差し込んでください。
7. キャップを時計回りとは逆方向に、回してください。 芯が引っ込みます。
8. 芯がほとんど引っ込み、残りが3ミリ程度になったら、出ている部分を、指で押してください。 そうすると、内部のメカ部分に、芯がしっかり固定されます。